

堺市こころの健康センター所報

第 12 号

(平成29年度実績)

堺市こころの健康センター

はじめに

平成 18 年 4 月に堺市が政令指定都市移行し、堺市こころの健康センターが誕生してからまる 12 年が経ちました。社会情勢を踏まえながら、そして市民からの要請に応えながら当センターは常に変化を求められてきました。その中で、当センターにとって平成 29 年度は改革の年であったと思います。その理由を以下に述べます。

統合型リゾート整備推進法（IR 法）が呼び水となり、アルコール依存症や薬物依存症に加えてギャンブル等依存症も専門的な医療や支援体制を整備することが求められ、平成 29 年度にギャンブル等依存症専門相談体制の構築にむけて急ピッチで準備を整えました。

他の専門相談業務として平成 29 年 3 月から性暴力被害者心理カウンセリングを新規に開始しています。平成 29 年度の相談延べ件数は 12 件でした。相談の性質上、被害者が相談しづらい状況があると考えられ、相談者の心理に配慮した周知の仕方を模索していく必要があることが課題として挙げられました。

また、開所当初に比べ堺市内の精神科診療所数は倍増しており、市民の精神医療へのアクセスが容易になったことを踏まえ、平成 29 年度末で当センターの保険医療機関としての機能を見直しました。そして、当センターでは各種相談業務利用者の回復・支援のためにグループワークを行っていますが、より専門性の高い支援を提供する目的で当センター初となる作業療法士を平成 30 年度から採用することを決定しました。

他にも、精神医療審査会につきましては、平成 26 年度に精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の改正に対応するため合議体を 1 体増やして 3 合議体で審査を行う体制としました。1 合議体あたりの審査負担を減らすことで、より適切な審査を行えるように体制の改善を図りましたが、退院及び処遇改善請求審査の処理日数短縮が課題として残っていました。これに対し、合議体委員とは別に予備委員を新たに選任する方向とし、柔軟な審査体制の構築を図りました。

毎年の事ながら、ひきこもり専門相談の件数は 5,212 件と前年から 234 件も増えています。これは新たな相談者の増加と長期的な支援が必要であることの両方を示しているものと考えます。内閣府の調査では「ひきこもり」は全国に 54 万 1000 人いると推定され、堺市にあてはめると 3,500 人余りいると考えられます。国の調査では 40 歳以上が含まれていないことから、その実態はさらに多いと考えられます。さらに各種報道などでは 8050 問題と言われるひきこもりの子どもと親の高齢化が案じられており、今後複雑化した事例が増加することが容易に想像できます。当然、当センターのみでは対応不可能となるため、援助の軸となるピアサポーターの養成とひきこもり地域支援センターの拡充を精力的に進めているところです。前述の様にひきこもりの増加に対して、当事者会や家族会の設立が必須であり、行政から地域に支援の場を移していくことを念頭に事業を展開していく必要があると考えています。

平成 30 年度にはギャンブル等依存症対策基本法案の制定や精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の改正が行われる見込みです。結局、毎年改革の年になりそうですが、当センターに期待される役割に応えられるように、引き続き努めてまいります。今後も、皆様方のご理解、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 30 年 6 月

堺市こころの健康センター
所長 井川大輔

目次

はじめに	1
I 沿革	4
II 堺市こころの健康センターの概要	
1 施設	7
2 組織と職員数	9
III 事業概要と業務実績	
1 専門相談・診療事業	10
2 教育研修事業	18
3 普及啓発事業	22
4 技術支援事業	25
5 組織育成事業	28
6 精神医療審査会・自立支援医療（精神通院医療）及び 精神障害者保健福祉手帳の判定	29
7 調査研究事業	31

【略語注釈】

Dr＝医師、CP＝臨床心理技術者、PHN＝保健師、PSW＝精神保健福祉士

I 沿革

平成16年度

2月 美原町の合併 美原保健センター開設（精神保健福祉相談員1名を配置）

平成17年度

4月 健康部健康増進課内に、精神保健福祉業務政令指定都市移行準備担当（事務職主査1名）を配置
大阪府こころの健康総合センターへ精神保健福祉士1名、大阪府精神保健福祉課へ事務職1名を研修派遣（4月～12月）
庁内に「精神保健福祉業務政令指定都市準備検討会」を設置（月2回開催、12月末まで）

7月 健康部に、副理事（精神科医師）1名を配置

10月 健康部健康増進課に、心理職員2名を配置

第1回堺市精神保健福祉業務政令指定都市準備意見交換会（外部委員21名）

12月 第2回堺市精神保健福祉業務政令指定都市準備意見交換会（外部委員21名）

堺市こころの健康センター条例（条例第67号）及び堺市精神医療審査会条例（条例68号）の議決

2月 こころの健康センター開設準備担当に、精神保健指定医1名、精神保健福祉士2名、心理職2名を任命

3月 こころの健康センター改修工事（北支所5階）

平成18年度

4月 政令指定都市へ移行

こころの健康センター開設（北区役所5階）【職員16名 電話相談員4名体制】

*精神保健指定医2、保健師2、精神保健福祉士4（うち非常勤1）、心理3（うち非常勤1）、看護師1（うち非常勤1）、事務4（うち短期臨時職員2）

ひきこもり専門相談、高機能広汎性発達障害専門相談を開始

精神医療審査会 2合議体を設置 専用電話の設置

9月 高機能広汎性発達障害家族教室を開始

10月 ひきこもり専門グループワークを開始

平成19年度

6月 高機能広汎性発達障害専門グループワークを開始

7月 高機能広汎性発達障害家族教室を開始

*発達障害者支援センター開設に伴い、3月末にて高機能広汎性発達障害専門相談、グループワーク、家族教室を終了

10月 ひきこもり家族教室を開始

平成20年度

4月 精神保健福祉士常勤1名を増員【職員17名体制】

10月 薬物依存症専門相談、自死遺族専門相談を開始

平成21年度

平成22年度

8月 薬物依存症家族教室の開催

1月 子ども青少年部局がひきこもり地域支援センター（児童期）の堺市ユースサポートセンター（子ども・若者総合相談センター）を開設

平成23年度

4月 保健師常勤1名、精神保健福祉士非常勤1名、心理非常勤1名を増員【職員20名体制】

5月 ひきこもり地域支援センター（成人期）を開設
ひきこもり相談専用電話の設置

12月 第1回ひきこもり市民講演会の開催

平成24年度

4月 健康福祉プラザの開設
こころの健康センター 北区役所から健康福祉プラザ3階へ移転
保健師常勤1名が減員【職員19名体制】

平成25年度

4月 医師常勤1名の減員 代替として医師非常勤2名の配置
看護師非常勤1名の代替に心理短期臨時職員1名を配置【職員18名体制】

7月 薬物依存症専門グループワークを開始

11月 ひきこもりサポーター養成講座（堺市ユース・ピアサポーター養成講座）の開催

1月 ひきこもりサポーター派遣事業の開始（ユース・ピアサポーター活動の開始）

平成26年度

4月 精神保健福祉士非常勤1名の増員【職員19名体制】
精神医療審査会 1合議体の増加（3合議体の体制）

平成27年度

4月 医師常勤1名の増員（代替の医師非常勤2名 配置終了）
保健師常勤1名の代替に、精神保健福祉士短期臨時職員1名の配置【職員20名体制】

11月 アルコール関連問題啓発週間 啓発パネル展示の開催

平成28年度

4月 精神保健福祉士常勤1名、保健師再任用1名の増員
事務職員1名の減員 代替に事務職短期臨時職員1名の配置【職員22名体制】

6月 薬物依存症治療・回復プログラム（SDY 48）の開始

11月 アルコール関連問題啓発週間におけるパネル展示及び市民向け講演会の開催

3月 性暴力被害者へのカウンセリング事業の実施

平成29年度

- 4月 非常勤心理職1名を配置（保健師再任用1名 退職）
精神保健福祉士1名の増員（事務職短期臨時職員1名 減員）【職員22名体制】
- 5月 ギャンブル等依存症の相談等実施に向けた準備開始
- 9月 専門外来診療の見直し、精神医療審査会予備委員の配置 検討

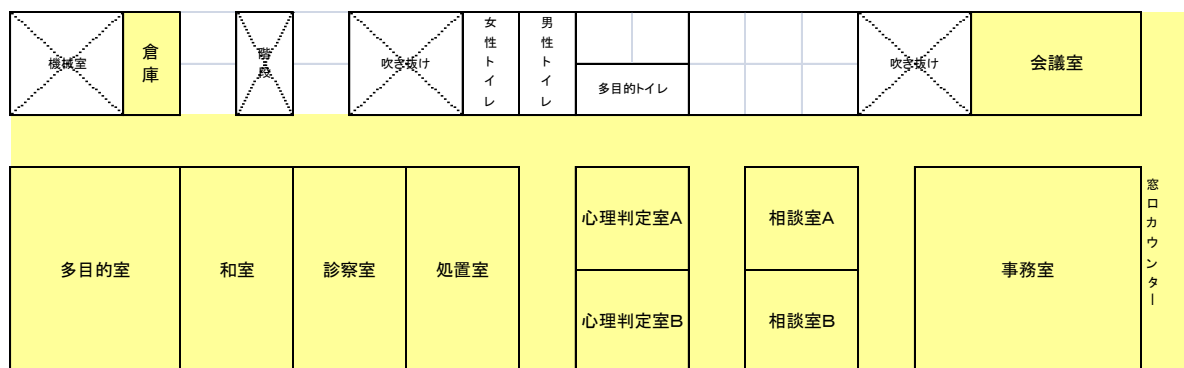
Ⅱ 堺市こころの健康センターの概要

1 施設

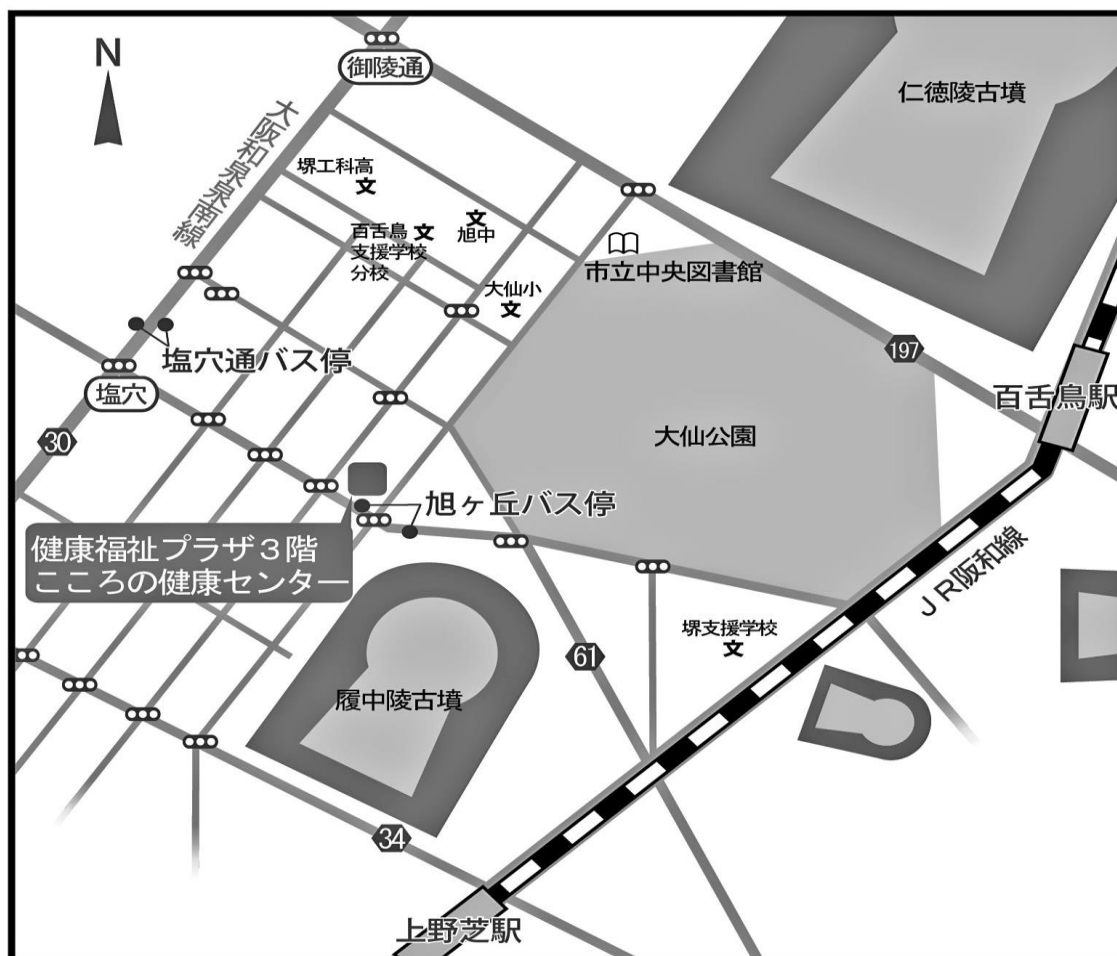
1-1 外観



1-2 平面図



1-3 所在地



〔住所〕 〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号 堺市立健康福祉プラザ3階

〔電話〕 072-245-9192 〔FAX〕 072-241-0005

072-243-5500（こころの電話相談）

072-241-0880（ひきこもり電話相談）

〔アクセス〕 JR 阪和線「百舌鳥」駅下車 西へ1.4km

JR 阪和線「上野芝」駅下車 北西へ1.3km

南海バス「堺東」駅より（泉ヶ丘駅行）乗車、「旭ヶ丘（健康福祉プラザ前）」バス停下車すぐ

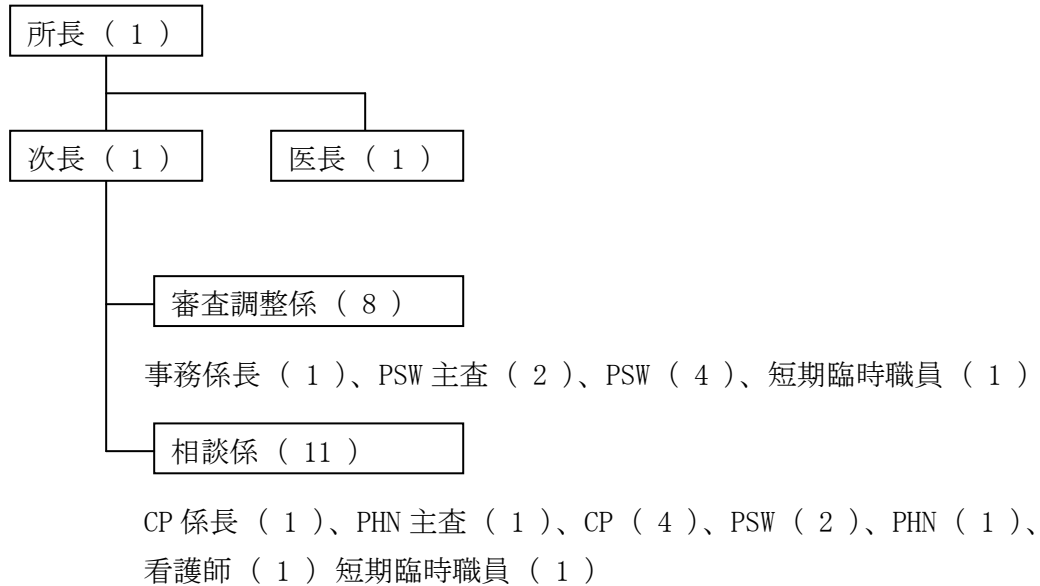
南海バス（西区役所前行など）乗車「塩穴通」バス停下車 南東へ500m

1-4 開設

開設年月日 平成18年4月1日

2 組織と職員数

2-1 組織（平成 29 年 4 月 1 日現在）



2-2 職種別職員数（平成 29 年 4 月 1 日現在）

	Dr	PSW	CP	PHN	看護師	事務職
所長	1					
次長		1				
医長	1					
審査調整係		6 内非常勤職員 2				2 内短期臨時職員 1
相談係		2 内非常勤職員 1	5 内非常勤職員 3	2	1 内非常勤職員 1	1 内短期臨時職員 1

電話相談員・・・11名（当番制）

非常勤嘱託 Dr・・・10名

Ⅲ 事業概要と業務実績

1 専門相談・診療事業

1-1 専門相談の概要

精神保健及び精神障害者の福祉に関する相談及び指導のうち、複雑又は困難な事例に対する相談業務を行った。(表 1-1)

(表 1-1) 専門相談 利用者数

内容	延べ件数	実数
ひきこもり	5,212	379
薬物依存症	566	71
自死遺族	122	26
性暴力被害	12	5
その他	445	243
合計	6,357 件	724 人

1-2 ひきこもり (ひきこもり地域支援センター)

平成 23 年度に当センター内に設置された「ひきこもり地域支援センター (成人期)」の活動として、市民に対する講演会や、ホームページ・リーフレット等を使った啓発を行った。また、「ひきこもり相談電話」を設置し、利便性を高め、より広く市民からの相談に応じた。各関係機関のネットワークを構築し、支援体制の整備を行った。

さらに、平成 26 年度からは、ひきこもりサポーター養成・派遣事業として、ひきこもり経験のある当事者に対して、「ユース・ピアサポーター養成講座」を実施し、登録したサポーターを各種ひきこもり支援に活用した。

1) 相談支援及びグループワーク等

ひきこもり状態にある本人及びその家族や関係者に対して相談支援を行った。対象は、概ね 15 歳以上で、自宅以外での生活の場が失われている状態にあり、あきらかな精神疾患の存在が認められない本人及び家族・関係者とした。電話、来所面接、家庭訪問、所外相談 (同行等)、手紙、メール等の方法により実施した。(表 1-2-1)

また、ひきこもり相談を利用している家族を対象に、ひきこもりに関する学びの場とする家族教室と、家族同士の交流の場としての家族交流会を実施した。(表 1-2-2)

さらに、ひきこもり相談を利用している本人を対象とした各種グループワークを実施した。
(表 1-2-3)

(表 1-2-1) ひきこもり相談 相談形態別 (延べ件数)

電話(※)	来所相談	家庭訪問	所外	手紙	メール	合計
1,594	2,699	174	162	57	526	5,212 件

※内ひきこもり相談電話、49 件。

(表 1-2-2) ひきこもり家族教室・交流会 利用状況

内容	実施回数	利用者延数
家族教室 (コミュニケーション講座、当事者体験談、 家族体験談、ライフプランセミナー等)	14	130
家族交流会 (家族が交流し支えあう場)	7	77
合計	21 回	207 人

(表 1-2-3) ひきこもり本人向けグループワーク 利用状況

内容	実施回数	利用者延数
体験 (ボランティア等の体験をする)	7	47
講座形式 (さまざまな講義を聴く、映画鑑賞)	9	61
スポーツ (身体を動かす)	13	179
就労体験談 (就労している人の体験談を聴く)	1	19
女性 (女性限定グループ)	10	31
小グループ (少人数の活動)	3	14
緑化活動 (緑化センターでのボランティア活動)	6	20
サポーターミーティング (サポーター活動)	49	252
OB・OG 会	12	103
サポーター企画グループ (ピアサポーターによる企画)	24	260
合計	134 回	986 人

2) ユース・ピアサポーター活動

ひきこもりサポーター養成・派遣事業として、ひきこもり経験のある当事者を対象に「ユース・ピアサポーター養成講座」を実施し、講座修了者を各種ひきこもり支援事業に活用した。具体的にはひきこもり経験を生かした活動として、個別相談の補助、グループワークの企画、家族教室等での体験談の講師として活用した。

養成研修 4回 参加者延べ34人

ユース・ピアサポーター登録者 34名

活動回数 延べ402回

3) 教育研修、職員派遣

ひきこもり支援関係機関の求めに応じ、研修会等に職員を派遣した。(表 1-2-4)

(表 1-2-4) ひきこもりに係る主な職員派遣等 実績

実施日	内容	対象	派遣職員	参加人数
6/14	「ひきこもり」の若者への支援について	殿馬場中学校教員	CP、PHN	13
11/6	ひきこもりの精神保健相談・支援の実践研修		Dr、CP	50
合計		2回 63人		

4) 普及啓発

ひきこもりで悩む本人や家族が孤立し、問題が長期化・重症化しないよう、市民に対する講演会を開催した。(表 1-2-5)

(表 1-2-5) ひきこもりに係る普及啓発 実施実績

実施日	内容	講師	参加人数
7/30	ひきこもりからの第一歩 ～家族と共に踏み出そう～	徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 准教授 境 泉洋	76
合計		1回 76人	

5) その他（技術支援、会議参加等）

関係機関とのネットワークを構築し、ひきこもり支援を推進するため、各種の会議に参加して情報共有等を図ると共に、ひきこもり地域支援センターの専門性を生かした技術支援等を行った。（表 1-2-6）

その他、関係団体からの視察や見学等の受け入れ等を行った。

（表 1-2-6） ひきこもりに係る主な技術支援、会議参加等実績

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
ひきこもり支援	ひきこもり地域支援センター 連絡会議（事例検討会）	ひきこもりに関する 事例検討会	9
ひきこもり支援	ひきこもり地域支援センター 全国連絡協議会	協議会への出席	2
子ども若者支援	子ども若者支援地域協議会 （子ども家庭課）	協議会への出席 実務者会議	1 5
合計		17回	

1-3 薬物依存症

1) 相談支援及びグループワーク等

覚せい剤、麻薬等の違法薬物や危険ドラッグ等の依存の問題で困っている本人及び家族等に対して相談支援を行った。個別の状況に応じた支援及び精神科医による相談（月 1 回程度）を実施した。（表 1-3-1）

また、薬物依存症で困っている家族を対象に、薬物問題の正しい理解とその対応について学ぶことを目的とした家族教室を実施した。（表 1-3-2）

さらに、薬物依存症相談の利用者を対象に、再発予防を目的としたグループワークを実施した。（表 1-3-3）

（表 1-3-1） 薬物依存症相談 主な相談対象薬物別（延べ件数）

覚せい剤	麻薬	大麻	有機溶剤	危険ドラッグ	処方薬	その他	合計
399	25	43	26	27	30	16	566 件

（表 1-3-2） 薬物依存症家族教室 利用状況

内容	実施回数	利用者延数
1 家族心理教育プログラム	11	54
2 薬物依存症に悩む人たちを支える人のワークショップ		
合計	11回	54人

(表 1-3-3) 薬物依存症グループワーク 利用状況

内容	実施回数	利用者延数
再発予防を目的とした集団活動	28	51
合計	28回	51人

2) 教育研修、職員派遣

依存症支援関係機関の職員を対象に、依存症支援の技術を向上させることを目的として研修を実施した。(表 1-3-4)

また、関係機関等の求めに応じ、研修会等に職員を派遣した。(表 1-3-5)

(表 1-3-4) 依存症支援者研修 実施実績

実施日	内容	講師	参加人数
9/29	依存症支援者研修 「CRAFT から学ぶ効果的な 家族支援とは？」	社会医療法人あいざと会 藍里病院 副院長 吉田 精次	35
合計		1回	35人

(表 1-3-5) 薬物依存症に係る主な職員派遣実績

実施日	内容	対象	派遣職員	参加人数
6/29	薬物乱用防止教室	堺市立陵西中学校	Dr、PSW	28
合計		1回	28人	

3) その他（技術支援、会議参加等）

関係機関とのネットワークを構築し、薬物依存症支援を推進するため、各種の会議に参加して情報共有等を図ると共に、当センターの専門性を生かした技術支援等を行った。(表 1-3-6)

(表 1-3-6) 薬物依存症に係る主な技術支援、会議参加等実績

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
薬物依存症支援	大阪保護観察所への助言	対応助言	1
薬物依存症支援	大阪府・大阪市・堺市依存症対策意見交換会	会議への出席	1
薬物依存症支援	大阪府薬物依存症関連機関連携会議	会議への出席	2
薬物依存症支援	大阪府依存症関連機関連携会議 依存症治療支援部会	部会への出席	2
薬物依存症支援	大阪府依存症関連機関連携会議 依存症地域生活支援部会	部会への出席	2
合計		8回	

1-4 自死遺族

1) 相談支援等

大切な人を自殺で亡くした遺族等を対象に、個別の状況に応じた支援及び臨床心理士による心理カウンセリング（月2回程度）を実施した。

自死遺族相談実績（再掲） 実数26人（延べ122件）

うち臨床心理士による相談 14回、実数4人（延べ17件）

2) その他（技術支援、会議参加等）

関係機関とのネットワークを構築し、自死遺族支援を推進するため、各種の会議に参加して情報共有等を図ると共に、当センターの専門性を生かした技術支援等を行った。（表1-4）

（表1-4） 自死に係る主な技術支援、会議参加等実績

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
自殺対策	自殺対策に係る各種会議等（精神保健課）	連絡懇話会への出席	2
		庁内連絡会への出席	2
自殺対策	こころの健康づくり講演会（精神保健課）	講演会の出席	1
自殺対策	自殺予防集中電話相談事業報告会	報告会への出席	2
自殺対策	自殺対策事業地域連携モデル事業研修会	研修会への出席	1
合計		8回	

1-5 性暴力被害

1) 相談支援等

性暴力被害に遭われた女性を対象に、個別の状況に応じた支援及び臨床心理士による心理カウンセリング（月1回程度）を実施した。

性暴力被害心理カウンセリング実績（再掲） 実数5人（延べ12件）

うち臨床心理士による相談 3回、実数1人（延べ3件）

2) 教育研修、職員派遣

性暴力被害の支援について啓発することを目的として、研修会に職員を派遣した。（表1-5-1）

（表1-5-1） 性暴力被害に係る主な職員派遣実績

実施日	内容	対象	派遣職員	参加人数
6/29	性暴力を許しません！ 健康福祉の視点からの取り組み	堺自由の泉大学	PSW	200
合計		1回 200人		

3) その他（技術支援、会議参加等）

性暴力被害者の方がさまざまな相談機関へつながりやすくなるよう、関連する相談機関を一覧にした周知パンフレット等を作成するため、ワーキングに参加して情報共有等を図ると共に、当センターの専門性を生かした技術支援等を行った。（表 1-5-2）

（表 1-5-2） 性暴力被害に係る主な技術支援、会議参加等実績

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
性暴力被害	性暴力被害者支援の相談窓口の周知パンフレット等作成ワーキング（健康医療推進課）	ワーキングへの出席	3
合計		3回	

1-6 専門外来診療事業

公的医療機関として一般精神科では対応困難な症例について、特定外来診療を予約制で行った。（表 1-6）

専門外来診療 実数 11 人（延べ 15 件）

（表 1-6） 診断分類

自閉症スペクトラム障害	その他	合計
9	2	11 人

1-7 こころの電話相談

こころの病に対する偏見は依然として強く、適切な精神科医療機関及び相談機関に関する情報は充分ではない状況に対して、電話の利便性の高さや匿名性を生かし、よりスムーズな医療・相談機関等の情報提供を行うとともに、精神障害者の生活相談に即応することを目的として、電話相談を実施した。（表 1-7-1、表 1-7-2）

なお、平成 24 年 9 月より全国こころの健康統一ダイヤル（0570-064-556）に常時加入した。

専用回線（1 回線）により、有資格者の電話相談員が土・日・祝日・年末年始を除く 9:00～12:30、13:30～17:00 に対応した 9 月、3 月（自殺対策強化月間）については、12:30～13:30 も対応した。

また、電話相談における困難事例への対応の検討及び相談技術の向上、社会資源の情報の更新等を目的に、電話相談員のフォローアップ研修及び交流会を実施した。

相談日 244 日

相談件数 2,488 件

(表 1-7-1) 相談内容別件数

老人 精神保健	社会 復帰	アルコール 依存	薬物依存	ギャンブル 依存	思春期	こころの 健康づくり	うつ	その他	合計
133	1,412	13	10	2	17	48	27	826	2,488件

(表 1-7-2) 対応時間別件数

～15分	15～30分	30～60分	60～120分	120分以上	その他	合計
776	702	709	158	7	136	2,488件

2 教育研修事業

2-1 新任者研修

堺市内の精神保健福祉関係機関における実務経験が概ね1年未満の職員を対象に、精神障害に関する基礎的な知識と基本的な技術の習得を目的として研修を行った。なお、その1コマである「精神疾患の基礎知識」はオープン研修として、同研修受講者以外も受講できるようにした。(表 2-1-1)

また、同研修受講者を対象に、フォローアップ研修を行った。(表 2-1-2)

(表 2-1-1) 新任者研修 実施実績

実施日	5/9～12 (1回、4日間) ※オープン研修：5/10
内容 (講師)	<ul style="list-style-type: none"> ・堺市の精神保健福祉の流れ (PSW) ・体験を通しての今まで・これから、ピアサポートについて (精神障害のある当事者) ・家族会活動と家族の思い (家族会) ・地域の支援者として思うこと (就労継続支援 B 型職員) ・精神疾患の基礎知識 (Dr) ※兼オープン研修 ・精神保健福祉概論、堺市の障害者相談支援体制 (PSW) ・精神保健福祉の領域で用いる相談技法 (CP) ・見学実習、報告会 【実習先】サニーカフェ・サニーハウス、四季彩、しののめハウス アンダンテ就労ステーション、当センター ・援助職のストレスケア (CP)
参加人数	【新任者研修】 22人 (延べ86人) 【オープン研修】 11人

(表 2-1-2) 新任者フォローアップ研修 実施実績

実施日	1/31 (1回)
内容 (講師)	【1部】 事例検討 (PSW、CP) 【2部】 情報交換及び交流会
参加人数	13人

2-2 現任者研修

精神保健福祉関係機関の職員を対象に、精神障害者支援の技術を向上させることを目的として、研修を実施した。(表 2-2)

(表 2-2) 現任者研修 実施実績

実施日	内容	講師	参加人数
6/6	周産期のメンタルヘルス ～危機的状況にある妊産婦等への 関わりのコツ～	大阪市立大学大学院 生活科学研究科 長濱 輝代	63
9/11	精神科入院制度の基本	当センター PSW	46
12/12	ストレス関連疾患の基礎知識	当センター Dr	58
2/26	アルコール等依存症支援者研修 アルコール依存症者への生活支援 ～リカバリーの視点から～	特定非営利活動法人いちごの会 リカバリハウスいちご 所長 佐古 恵利子	30
3/8	地域のなかの訪問看護師 ～利用者を支えることと、 その視点について～	すまいる・ポッケ 訪問看護ステーション 管理者 小椋 かおる	23
合計		5回 220人	

※専門相談に係るものについては前掲（依存症 1回 35人）。

2-3 相談員研修

保健センターの精神保健福祉相談員（概ね相談実務経験年数 10 年未満）を対象に、ケースワーク技術の向上、相談員間の情報共有と連携を図るため、事例検討研修を実施した。
(表 2-3-1)

また、同精神保健福祉相談員（概ね相談実務経験年数 10 年以上）を対象に、中堅研修を実施した。(表 2-3-2)

加えて、新規採用及びそれに準ずる精神保健福祉相談員（常勤）を対象に、必要となる基本的な知識や観点について学ぶ機会を提供することを目的として、新規採用精神保健福祉相談員集中研修を実施した。(表 2-3-3)

(表 2-3-1) 相談員研修（概ね相談実務経験年数 10 年未満） 実施実績

実施日	5/19、6/16、8/18、9/15、11/17、12/15、2/16（7回）
内容	事例検討
参加者延数	57人

(表 2-3-2) 相談員研修 (概ね相談実務経験年数 10 年以上) 実施実績

実施日	①7/21、②10/20、③1/19 (3 回)
内容	①フリーディスカッション (事例検討及び意見交換) ②行政における精神保健福祉士の専門性とは ③事例検討
参加者延数	19 人

(表 2-3-3) 相談員研修 (新規採用及びそれに準ずる精神保健福祉相談員) 実施実績

実施日	①6/16、②8/18、③9/15、④11/17、⑤12/15、⑥2/16 (6 回)
内容	①行政機関に勤める精神保健福祉士として重視すべきポイント ②同職種から学ぶ精神保健福祉業務のやりがい ③精神保健福祉事業における法定業務 ④地域保健活動における精神症状の解釈と判断 ⑤専門用語の整理と精神療法面接 ⑥受講者によるプレゼンテーション及び研修全体の振り返り
参加者延数	25 人

2-4 職員派遣

庁内関係各課、精神保健福祉関係機関や精神保健福祉に関心のある団体等の求めに応じ、研修会等に職員を派遣した。(表 2-4-1、表 2-4-2)

その他、専門学会の講座司会等に職員を派遣した。

(表 2-4-1) 主な職員派遣実績 (庁内)

実施日	内容	対象	派遣職員	参加人数
4/11	障害者支援課業務新任研修	新任認定調査員	PSW	4
5/1	健康部業務新任者研修	健康部新任者	PSW	59
10/13	女性相談員等能力向上研修	各区女性相談員	PSW、CP	10
合計		3 回 128 人		

(表 2-4-2) 主な職員派遣実績 (庁外)

実施日	内容	対象	派遣職員	参加人数
4/27	第 45 回酒害相談講習会	酒害相談講習会	PSW	68
7/19	アルコール関連問題を抱える ケースへの対応	西区自立支援協議会 ヘルパー交流会	PSW	33
10/3	平成 29 年度第 7 回衛生委員会	堺市社会福祉協議会 衛生委員会	Dr	20
10/23	地域移行シンポジウム	市内相談支援事業者等	PSW	45
2/15	施設見学及び講義	桃山学院大学	PSW	6
2/28	個別ケースにおける精神障害 のある方への支援について	南区指定相談事業所 職員	Dr	15
合計		6 回 187 人		

※専門相談に係るものについては前掲 (ひきこもり 2 回 63 人、薬物依存症 1 回 28 人、性暴力被害 1 回 200 人)。

2-5 学生実習

医科大学生及び精神保健福祉士実習生について、受け入れの調整を行った。(表 2-5)
その他、社会福祉士実習生について、他部局で実施されるプログラムへの協力を行った。

(表 2-5) 学生実習受入実績

学校名等	実習場所	受入人数
奈良県立医科大学	当センター等	6
大阪体育大学	当センター及び堺保健センター等	1
大阪保健福祉専門学校	当センター及び西保健センター等	1
桃山学院大学	当センター及び南保健センター等	1
合計		9 人

2-6 その他研修等

前記以外の研修として、当センター職員が受講した研修の伝達等を行った。(表 2-6)
その他、関係機関や大学からの視察や見学等の受け入れ等を行った。

(表 2-6) その他研修 主な実施実績

実施日	内容	講師	参加者延数
3/5	伝達研修	当センター CP (2 人)、PSW、PHN	20
合計		1 回 20 人	

3 普及啓発事業

3-1 アルコール等依存症者支援講演会

アルコール関連問題の一つであるアルコール依存症をはじめ、依存症全般への理解を深めるとともに、自らや家族の健康について見直す機会とすること及びハイリスク者を早期に支援につなげる機会とすることを目的として企画開催した。(表 3-1)

(表 3-1) アルコール等依存症者支援講演会実績

名称	堺市アルコール等依存症者支援講演会 ～アルコール依存症のことについて、皆さんで考えてみませんか～
開催日	11/5
場所	堺市総合福祉会館 6階 大ホール
主催	堺市
協力	堺市断酒連合会
内容	・アルコール健康障害対策基本法の概要と国の動き、堺市の取り組み等 ・講演『知って得するお酒の話 ～家族みんなの幸せと健康のために～』 医療法人和気会 新生会病院 院長 和気 浩三 ・家族体験談
参加者	106人

3-2 ハッスル運動会（堺市精神障害者地域交流運動会）

堺市内の医療機関又は社会復帰施設等を利用する精神障害者やその家族、関係機関の職員及びボランティアを含めた市民等が相互に交流することにより、精神障害者への理解を深め、精神障害者の社会参加を促進するとともに、地域のネットワークづくりの構築を推進することを目的として開催した。(表 3-2)

(表 3-2) ハッスル運動会（堺市精神障害者地域交流運動会）開催実績

名称	第 29 回堺市精神障害者地域交流運動会
開催日	10/19
場所	J-GREEN 堺（堺市立サッカーナショナルトレーニングセンター） 屋根付フットサルコート
主催	堺市精神障害者地域交流運動会実行委員会
協力 (順不同)	大阪いずみ市民生活協同組合、(株)神戸屋堺工場、堺ヤクルト販売(株)、 東燃ゼネラルグループ労働組合堺支部、堺市健康づくり推進市民会議
参加者	473人（27団体、メンバー：420人、スタッフ等：51人、来賓：2人）

3-3 精神保健福祉セミナー

広く市民に精神保健福祉に関する正しい知識の普及・啓発を行い、こころの健康についての関心を促すことによって、ノーマライゼーションの理念の実現を図り、こころ豊かなまちづくりを市民の側から進めるきっかけとすることを目的として企画開催した。企画・運営は、市内関係各機関で構成された実行委員会により実施した。(表 3-3)

(表 3-3) 精神保健福祉セミナー開催実績

名称	第 24 回堺市精神保健福祉セミナー 「見て・聴いて・知って ～心と心でつながろう！！～」
開催日	12/8、12/9
場所	堺市立健康福祉プラザ 3階 大研修室 (12/8) 堺市立健康福祉プラザ 3階 会議室 304 (12/9)
主催	堺市精神保健福祉セミナー実行委員会
内容	・講演『講演『すみれ会の活動を通じて想うこと』 NPO 法人すみれ会 地域活動支援センターすみれ第一 施設長 (法人副理事長) 石山 貴博、石山 由加 ・当事者等によるパネルディスカッション ・作品展示
参加者	68 人 (12/8)、50 人 (12/9)

3-4 こころの健康講座

精神障害者の家族を対象に精神障害についての研修を行い、家族の不安を軽減するとともに、交流の機会を設け、孤立を防止することを目的として、こころの健康講座を開催した。(表 3-4)

(表 3-4) こころの健康講座実績

実施日	内容	講師	参加人数
6/17	精神科医療におけるスポーツの意義 ～薬物療法との関連について～	大阪精神医学研究所 新阿武山病院 院長 岡村 武彦	58
11/4	家族が自分の思いを上手に伝える コミュニケーション	梅花女子大学 教授 瀧本 優子	65
3/10	本人の意思決定支援の大切さと難しさ ～精神障がい者への対応～	NPO 法人 おおさか地域 生活支援ネットワーク 理事長 北野 誠一	59
合計		3 回	182 人

3-5 出前講座

「どこでもセミナー～堺市生涯学習まちづくり出前講座～」として、諸団体からの要請を受けて講師を派遣し、こころの健康づくりに関する知識の普及・啓発を行った。(表 3-5)

(表 3-5) 出前講座実績

内容	回数	参加者延数
「ひきこもり」の若者への支援について	2	48
こころの健康講座 ～ストレスと上手につきあうコツ～	12	275
簡単うつ病講座 ～身近なうつ病、気づいていますか？～	4	95
アルコール関連問題とメンタルヘルス ～不適切な飲酒がもたらすもの～	3	109
合計	21	527 人

3-6 啓発冊子の作成

精神的健康の増進、精神疾患に対する正しい知識の普及を目的として冊子を作成し、各区の保健センターへ配架した他、講演会、イベント等で配布した。(表 3-6)

(表 3-6) 啓発冊子発行実績

名称	発行部数
性暴力で苦しんでいませんか？	35,000
知って得するお酒のはなし	3,000
「ひきこもり」これからのヒント	200

3-7 ホームページ

精神障害者に対する支援制度、利用可能な資源、精神疾患に関する知識、研修会、講演会等の開催情報など、当センターのホームページに掲載した。

URL : <http://www.city.sakai.lg.jp/kenko/kenko/hokencenter/kenkocenter/index.html>

4 技術支援事業

4-1 保健センターへの技術支援

市内各区の保健センターに対して、技術支援（11回）を行った。

4-2 個別支援及び各種事業への技術支援等

関係機関とのネットワークを構築し、精神保健福祉を推進するため、各種の会議に参加して情報共有等を図ると共に、当センターの専門性を生かした技術支援等を行った。（表 4-2-1、表 4-2-2、表 4-2-3）

（表 4-2-1） 個別支援に係る技術支援実績

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
心神喪失者等医療観察	大阪保護観察所等	ケア会議への出席等	41
障害者虐待防止	障害施策推進課	虐待コア会議への出席等	6
合計		47回	

（表 4-2-2） 各種事業協力（会議出席等）に係る技術支援（庁内）

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
障害者支援 （退院促進）	退院促進支援会議 （障害施策推進課）	会議への出席	2
障害者支援 （地域移行）	地域移行運営会議 （障害施策推進課）	会議への出席	8
障害者支援	障害者施策推進協議会幹事会 （障害施策推進課）	会議への出席	2
障害者支援	指定特定相談支援事業所会議 （障害施策推進課）	会議への出席	1
障害者支援	相談支援事業所等への研修 共有等に関する会議 （障害施策推進課）	会議への出席	1
障害者支援	堺市立健康福祉プラザ喫茶 運営事業者選定委員会 （障害施策推進課）	会議への出席	1
障害者支援	障害支援区分認定調査員研修 （障害者支援課）	研修への出席	1
精神保健福祉	精神保健福祉業務連絡調整会議 （精神保健課）	会議への出席	11
精神保健福祉	精神科病院実地指導等 （精神保健課）	実地指導立会い等	5

精神保健福祉	精神科病院連絡調整会議 (精神保健課)	会議への出席	1
精神保健福祉	精神保健福祉審議会 (精神保健課)	会議への出席	1
精神保健福祉	保健センター事業等調整会議 (精神保健課)	会議への出席	1
生活困窮者自立支援	生活困窮者自立支援制度 連携会議 (生活援護管理課)	会議への出席	1
健康さかい21	健康さかい21 市内連絡会 (健康医療推進課)	連絡会への出席	3
健康増進	健康増進計画懇話会 (健康医療推進課)	懇話会への出席	2
保健師業務	保健師業務調整会議 (健康医療推進課)	会議への出席	1
犯罪被害者等支援	子育て支援課長会議 (性暴力被害者への カウンセリング事業) (子ども企画課)	会議への出席	1
合計		43回	

※専門相談に係るものについては前掲（ひきこもり6回、自死遺族5回、性暴力被害3回）。

(表 4-2-3) 各種事業協力（会議出席等）に係る技術支援（庁外）

事業種別等	実施主体等	内容等	回数
心神喪失者等医療観察	医療観察制度運営連絡協議会 業務連絡会 (大阪保護観察所)	協議会への出席	1
		連絡会への出席	2
権利擁護支援	日常生活自立支援事業 契約締結審査会 (堺市社会福祉協議会)	審査会への出席	5
権利擁護支援	市民後見人養成講座 (権利擁護サポートセンター)	講座への出席	1
障害者支援	大阪精神科診療所協会 新年伝達講習会 (大阪精神科診療所協会)	講習会への出席	1
障害者支援	堺市障がい者スポーツ指導者 養成講習会 (健康福祉プラザスポーツ センター)	講習会への出席	1
障害者支援 (自立支援協議会)	堺市障害者自立支援協議会	市協議会への出席等	2
		区協議会への出席等	7
障害者支援 (就労支援)	就業・生活支援センター 連絡会及び運営委員会 (就業・生活支援センター)	連絡会議への出席	1
		運営委員会への出席	1

障害者支援 (発達障害者)	発達障害者支援センター 連絡協議会 (発達障害者支援センター)	協議会への出席	1
産業保健	堺労働基準監督署 管内産業保健活動推進協議会 堺地域産業保健センター 運営協議会合同会議 (堺労働基準監督署)	会議への出席	1
保健医療計画	第2回大阪府保健医療計画 精神疾患ワーキンググループ	専門部会への出席	2
精神保健福祉 (アルコール)	第24回関西アルコール 関連問題学会大阪大会	学会への出席	1
精神保健福祉 (アルコール)	第3回アルコール依存症対策 関係者調整会議	会議への出席	1
精神保健福祉 (アルコール)	第3回大阪府依存症関連機関 連携会議	アルコール健康障がい 対策部会への出席	1
精神保健福祉 (アルコール)	アルコール関連問題 啓発フォーラム	フォーラムへの出席	1
精神保健福祉	地域ニーズに応じた地域 精神保健医療の協働開発に 関する研究会議	会議への出席	1
精神保健福祉	精神科医療機関療養環境 検討協議会	協議会への出席	6
合計		37回	

※専門相談に係るものについては前掲(ひきこもり11回、薬物依存症8回、自死遺族3回)。

5 組織育成事業

市民の精神保健福祉の向上を図るために、地域住民による組織活動等に対して支援を行った。(表5)

(表5) 組織育成事業 主な実績

対象	内容	回数
家族会	会合出席	1
医療機関等（各協会等）	会合出席等	3
断酒会	会合出席、講師派遣等	6
その他	その他	8
合計		18回

6 精神医療審査会・自立支援医療（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定

6-1 精神医療審査会

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、精神医療審査会を設置して審査等を行った。（表 6-1-1、表 6-1-2、表 6-1-3）

なお、合議体は 3 合議体で、合計 35 回（A 合議体 12 回、B 合議体 12 回、C 合議体 11 回）開催した。また、審査会（全体会）を、1 回開催した。

その他、全国精神医療審査会連絡協議会等に参加した。

（表 6-1-1） 審査委員内訳

精神保健指定医	弁護士	学識経験者	合計
8	3	4	15 人

（表 6-1-2） 退院・処遇改善請求審査

請求等 区分	入院形態	請求件数	審査件数	審査結果件数	
				入院又は処遇は 適当	入院又は処遇は 不適当
退院請求	医療保護	35	35	15	5
	措置入院	3	3	2	0
	その他	0	0	0	0
合計		38 件	38 件	17 件	5 件
処遇改善 請求	任意入院	0	0	0	0
	医療保護	12	12	6	3
	措置入院	1	1	2	0
	その他	0	0	0	0
合計		13 件	13 件	8 件	3 件

※衛生行政報告例の集計方法に基づく。

※請求電話受電等件数は、693 件。

(表 6-1-3) 入院届・定期病状報告審査

請求等区分		審査件数	審査結果件数		
			現在の入院 形態が適当	他の入院 形態への 移行が適当	入院継続不要
医療保護入院届		2,727	2,726	0	0
定期病状 報告	医療保護入院	847	847	0	0
	措置入院	7	7	0	0
合計		3,581 件	3,580 件	0 件	0 件

※衛生行政報告例の集計方法に基づく。

6-2 自立支援医療（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定

1) 自立支援医療(精神通院)支給判定業務

自立支援医療(精神通院)の申請に係る診断書の判定業務を行った。(表 6-2-1)

(表 6-2-1) 自立支援医療（精神通院）判定件数

判定	件数
承認	10,705
不承認	7
合計	10,712 件

2) 精神障害者保健福祉手帳判定業務

精神障害者保健福祉手帳の申請に係る診断書の判定業務を行った。(表 6-2-2)

(表 6-2-2) 精神障害者保健福祉手帳判定件数

判定	件数
承認	3,179
不承認	15
合計	3,194 件

7 調査研究事業

7-1 紀要

当センター研究紀要（第10号）を発行した。（表7-1）

（表7-1） 紀要（第10号）掲載論文

論題
堺市民における抑うつ症状とその要因に関する検討—第2報—
多様な集団プログラムによるひきこもりの家族支援 —家族プログラム利用とひきこもり本人の相談利用との関係—
堺市「いのちの応援係」による自殺未遂者対策の現状について—第4報—
自殺未遂者支援事業から見た再企図者の特徴について
地方自治体における精神保健福祉士が有する専門的役割について（総説） —保健師との比較から—

7-2 その他発表等

前記以外の調査研究として、活動報告の発表等を行った。（表7-2-1、表7-2-2、表7-2-3）

（表7-2-1） 学会等発表 実績

実施日	学会発表	内容	職員
10/1	日本臨床発達心理士会 第13回全国大会	体験談の語り部としてのひきこもり サポーター養成の取り組み —「サカイイ話し手養成講座」の 実践から—	CP
10/31	第53回全国精神保健 福祉センター研究協議会	ひきこもり当事者の体験談発表を組み 合わせた就労準備グループワークの実践	CP
		堺市こころの健康センターにおける 保健センターへの技術支援の現状と 新たな試みについて	PSW
11/6	ひきこもりの精神保健 相談・支援の実践研修会	堺市こころの健康センターにおける ひきこもりの相談支援	Dr CP
11/20	第36回日本心理臨床学会	多様な集団プログラムによる ひきこもりの家族支援 —講座、ワークショップ、交流会による 集団支援の実践—	CP (2名)

11/25	第 24 回関西アルコール 関連問題学会大阪大会	アルコール関連問題について 保健所・保健センターが担う役割と可能性 —堺市の精神保健福祉業務と アルコール対策—	PSW
合計		6 回	

(表 7-2-2) 雑誌投稿等 実績

雑誌投稿等	内容	職員
「精神科治療学」32 巻 4 号 (2017 年 4 月発行)	ひきこもりの社会参加に繋げる集団支援 の方法—サカイ式すべらないグループワ ークの実践転帰分析—	CP
「日本公衆衛生雑誌」 第 64 巻第 12 号 (2017 年 12 月発行)	ひきこもり当事者によるピア活動を 目的としたひきこもりサポーター 養成派遣事業 「堺市ユース・ピアサポーター養成 派遣事業の取り組みについて」	CP
合計	2 回	

(表 7-2-3) 受賞・表彰等 実績

受賞・表彰等	内容	職員
第 14 回「精神科治療学賞」優秀賞	ひきこもりの社会参加に繋げる 集団支援の方法 —サカイ式すべらない グループワークの実践転帰分析—	CP
合計	1 回	

※「精神科治療学」33 巻 1 号 (2018 年 1 月発行) にて発表

堺市こころの健康センター所報 第12号（平成29年度実績）

編集・発行 堺市健康福祉局健康部こころの健康センター

〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号

堺市立健康福祉プラザ3階

TEL 072-245-9192 FAX 072-241-0005

E-mail kokense@city.sakai.lg.jp